第 2570 地区第 3 グループ
所沢東ロータリークラブ

世界に希望を生み出そう

週　報

2023 年 7 月～2024 年 6 月 会長 齋藤 正史 幹事 井川 和豊

例会日 毎週木曜日(12:30-13:30)
例会場 ベルヴィ ザ･グラン 所沢市星の宮 1-3-5 TEL04-2923-4122
事務局 所沢市星の宮 1-4-17 TEL04-2928-6363 fax04-2928-6369
Email info@te-rc.com HP http://www.te-rc.com/

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるか どうか

第 1597 例会
2024 年 3 月 7 日

1. 点鐘(会長)
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング斉唱
4. 四つのテスト
5. 来賓紹介（副会長）
6. 会長挨拶
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. ロータリーの友紹介
10. 委員会報告
11. 記念祝福
12. スマイルボックス
13. クラブフォーラム

「青少年交換学生について」
所沢中央 RC 会長 仁科陽子様

出席報告(総数 47 人)

3/7	人	%
2/22	47 人	100%

本日の記念祝福(3 月) 9

《会員誕生》

斎藤　修　　深井雅俊
新倉良之　　荒幡雅一
安里賢二

《ご夫人ご主人誕生》

荒幡明美　　齋藤君代(正史)
小泉美帆　　小澤純子(潤)

■■■クラブ年度テーマ■■■
新たなるスタート！

【会長挨拶】 2 月 15 日

北村なつきさんの留学先が決まりました。次年度の派遣先はフランス、イタリア、台湾、インドネシア、チェコの 5 か国です。留学先の決定は、国の名前が書いてある用紙が入っている封筒を順番に引いていくという形をとりました。北村さんの引く順番は最後になり、インドネシアが留学先になりました。

インドネシアは 13,000 余りの島からなる共和国で人口は 2 億 7000 万人に上ります。そして 8 月には留学生が来日しますので、少しずつ準備を始めていきましょう。

創立 35 周年記念例会を 3 月 29 日にベルヴィ ザ・グランで行います。

一部が記念式典・17 時～18 時、二部が懇親会・18 時 30 分～20 時 30 分、三部が 2 次会・21 時～22 時の三部構成になります。記念式典が終了後 4 階に移動して集合写真を撮ることになっています。

25 周年及び 30 周年の時に倣って、ロータリー財団と米山奨学会への寄付を記念式典の事業にしたいと思います。ロータリー財団に 70 万円、米山奨学会に 50 万円の寄付を考えています。例年、４月頃にロータリー財団に 100 ドル、米山奨学会に 1 万円を会員の方にお願いしてきましたが、今回は記念事業の一環として行いますので、会員の皆さんに 100 ドル（日本円で 14,700 円）と 10,000 円の寄付をお願いしたいと思います。事業費から引き落としをさせて頂きたいと思いますので、ご承知おきください。

創立 35 周年記念例会の詳しい内容は部会長に話をしていただきたいと思います。その後、部会ごとに分かれていただいて、内容を検討していただきたいと思います。

◆ニコニコボックス

第 1595 回例会 2 月 15 日

齋藤 正史 8 月にインドネシアから交換留学生がやってきます。少しずつ準備を始めましょう。

鶴田 良孝 初めての夜間例会、ワクワクしますね。私だけかな？

本日 35,000 円 累計額 512,400 円

◆記念祝福・結婚記念・入会記念

2 月 21 日 IM ヘリテイジ飯能

イニシエーションスピーチ　杉田　大輔　会員

私は昭和 53 年 9 月 23 日生まれ、現在 45 歳、出身は埼玉県飯能市です。

大学生時代、私の人生を決めた、1 軒の焼鳥屋との出逢いがありました。そのお店で 5 年間修業させていただき、2006 年 3 月に独立、有限会社炎家を創業し、その後は出店と閉店を繰り返しながら現在創業 18 年目を迎えさせていただきております。私が今まで取り組んできたことを中心に 2 つのテーマについてお話させていただき、イニシエーションスピーチとさせていただきます。

まず一つ目は「居酒屋とは」です。

私が学生時代のアルバイトを通じてその魅力に取りつかれ、人生の進む道として選んだ居酒屋という仕事ですが、外食産業の地位の低さを痛感することが多く、居酒屋の店長という仕事がもっと子どもたちから憧れられるような職業にしたいと感じていました。その時出逢ったのが居酒屋甲子園でした。その組織が掲げる居酒屋から日本を元気にする！という壮大な目的を持ち、外食業界で働く人が輝く舞台をつくるというテーマに共感し、実行委員、理事となり9年間運営側として活動しました。

居酒屋、とくに外食業界はアルバイトで成り立ち、学生の9割は外食業界でのアルバイト経験がある、という業界特性を鑑みた時、日本一の居酒屋を目指すのであればアルバイトを日本一にする、というテーマが生まれました。そこから、居酒屋で働くアルバイトの教育に力を入れるようになりました。アルバイトの教育で重要なのが、10 代後半 20 代前半の若者の特性を知ることでした。上司部下の関係が師弟関係で義理人情を大切にする 40 代以上を「スポ根世代」、仲間意識や絆を大切にする 30 代を「ジャンプ世代」、そして現代の若者、デジタルネイティブな”Z 世代”を「スマホ世代」と分類し、それぞれの育ってきた時代背景に合わせて初期教育を構築しました。本人の努力をまず求めるひと昔前の教育ではなく、”好きになる“ことから始める「共育」を重点に置き、”やる気”にさせる前に”その気”にさせることが何より重要。特に直近の若者は中高生時代をコロナ禍によって人との繋がりが分断された世代なので、初期教育は慎重にならなければなりません。居酒屋の仕事はお客様とのコミュニケーション、仲間との連携、ドリンク作りや調理、お酒や大人社会への理解と知識など、得られるものは非常に多く、やりがいを感じやすい仕事です。そこで、企業理念、考え方の共有と、教育の仕組みが盛り込まれた経営方針書、通称「赤本」を毎年作製し、全メンバーに持たせています。時代が変わろうと大切にされてきた価値観は現代の若者にとっても響くものが多く、居酒屋でのアルバイトを通じ、社会で生き抜く強さを少しでも身につけ、ここを卒業して社会人になった時、少しでも社会に順応し人々のお役に立てられるような人財を育成できた時、世の中からも「居酒屋すてたもんじゃないな」と感じられるはず。教育こそが居酒屋経営の使命と捉えるようになりました。もし皆様のご子息、知人などで若い方がいらっしゃれば是非ご紹介ください。夢は辞書で「居酒屋」を検索した時、「夢を語る場所」「人が出逢い成長できる場所」と掲載されることです。

二つ目のテーマは日本酒についてです。

居酒屋甲子園を通じた全国の経営者との出逢いの中で、全国各都道府県の強みを沢山感じることができました。

そんな出逢いの中で感じたことは、埼玉県の強みは何か、ということです。海もない、これといった特産の少ない県である埼玉県、それに加え、当時埼玉県は愛県心ランキングで最下位でした。埼玉県を全国に発信する何かを模索していた時見つけたものが、日本酒でした。埼玉県には 35 の酒蔵があり、日本酒生産量は全国 4 位。実は埼玉県は日本酒の生産地として全国に誇れる県であるという事実を目にした時、これは県民も中々知らない事実だと感じました。そこで取り組んだのが埼玉県を代表する日本酒をつくること。越生の佐藤酒蔵さんとコラボして 2018 年 19 年とオリジナルの「オール埼玉」という日本酒をつくりました。その後コロナ過を挟み、現在はコンセプトを変えて他県の酒蔵さんとのコラボでオリジナルの日本酒つくりを進めています。夢は所沢に日本酒蔵をつくること。日本酒文化を発信する役割としても、今後も尽力していく所存です。ご清聴ありがとうございました。

例会日	当 番	プ ロ グ ラ ム
3/7 木	奥野	クラブ協議会「青少年交換学生」
3/14 木	奥村	例会振替 17 日(日)地区大会 深谷市民文化会館
3/21 木	小澤潤	会員卓話「３分間スピーチ」
3/28 木		例会振替 3 月 29 日(金) 創立 35 周年記念例会 ﾍﾞﾙｳﾞｨｻﾞｸﾞﾗﾝ
4/4 木		休会
4/11 木	梶山	クラブ協議会
4/18 木	北村	卓話「これからの日本に必要な人材を育てる」 西武台高校副校長　山下伸雄　様
4/25 木	黒沢	例会振替 4 月 21 日(日) 地区研修協議会